

“お宝探し”塾 発表会を開催しました

2月4日（木）に、中津下毛教育会館にて「“お宝探し”塾」の発表会を開催しました。この講座は全3回シリーズとなっており、今回は3回目の発表会です。

“お宝探し”とは、普段の暮らしぶりの中で意識していないけれど地域のつながりとして大切なこと（例：一緒にお散歩、井戸端会議）を地域の皆さんと見つけ、お宝を磨き、皆で共有しようという講座です。今年度は、三光地区を対象に実施してきました。

第3回目の今回は、地域にお住まいの方47名と、福祉関係者18名の計65名の参加となり、1回目・2回目の講座に主に参加して下さった三光地区の方だけでなく、中津市内の他の地域からの参加者も多く、大盛況の中での開催となりました。

講師のご近所福祉クリエイター 酒井保さんの講演の後、前回発見した“お宝”の中から生活支援コーディネーターと社協職員が取材した発表が行われました。実際に“お宝”となる活動をされている方々が壇上に登場し、酒井さんと軽快なやり取りをする中で、地域の中で人と人がつながる「支え合い」が身近に行われているということを感じることができました。



講師の酒井 保さん

～発表した“お宝”～

- 三光「野中さん（90歳）と若妻たちの支え合い」
- 三光「日替わりティーサークル」
- 三光「飲んでしゃべって楽しむ会」
- 南部「中津なのみ手毬の会」
- 山国「105歳と78歳の支え・合いの日常」



今回発表したものを含め、皆さんから教えていただいた“お宝”を掲載したガイドを社協で作成しました。社協三光にて配布していますので、お気軽にお声かけください。